

埼玉トヨペット Green Brave



2021 RACE REPORT

AUTOBACS SUPER GT Round 4

MOTEGI GT 300km レース

2021年7月17日(土) ~ 18日(日)

MOTEGI GT 300km RACE (栃木県茂木町)

#52 埼玉トヨペット GB GR スーブラ GT

■ ■ ■ ■ 作戦変更にも対応し開幕戦に続く3位表彰台を獲得 ■ ■ ■ ■

SUPER GT 第4戦がツインリンクもてぎで開催されました。レース距離は300km。

GR スーブラ GT のサクセスウェイトは33kgで、軽いうちに今季初勝利をマークし、ランキング上位との差を縮めたいところです。GT300 クラスのエントリー台数は29台。

予選日の天候は晴れ。前日に梅雨明けが宣言され、猛烈な暑さです。朝一に行われた公式練習では、吉田選手と川合選手がタイヤと車体の感触を確かめながら走行。本番用タイヤの選択を行います。ベストタイムは吉田選手が14周目にマークした1分48秒854(7位)。両ドライバーはタイヤの感触に手応えを感じており、マシンの改善も順調に進みます。予選(Q1)はA組、B組の順に行われ、GR スーブラ GT はB組

に出場。川合選手は3周目に朝のタイムを上回る1分48秒568をマークし、3位でQ1を突破しました。Q2は10分間行われ、吉田選手が1回目のアタックで1分48秒254のトップタイムをマーク。ライバル3台が吉田選手のタイムを上回ったため、正式結果は4位となりましたが、優勝を狙える絶好のポジション。苦手なもてぎでの上位グリッド獲得に、チームの士気も高まります。

日曜日の天候も晴れ。チームはタイヤ無交換を前提に準備を進めますが、気になるのが路面温度。スタート直前の路面温度は50℃を超えており、無交換では走り切れない可能性も。チームはスタートドライバーに川合選手を起用。タイヤ交換を選択肢に入れつつも、ピットインでライバルの前に出て、吉田選手で逃げ切る作戦です。川合選手は4位でオープニングラップを終了。先行する#56 GT-Rにプレッシャーをかけますが、抜くことはできません。15周を過ぎたあたりからタイヤに関する無線が頻繁に飛び交うようになり、さまざまな検討をした結果、近藤チーフエンジニアはタイヤ4本交換を決断。28周目の終わりに川合選手をピットに戻し、吉田選手に交替します。店舗メカニックが素早くタイヤ4本を交換し、6位でコースに復帰。コースイン直後に#244 GR スーブラ GT に抜かれますが、33周目に抜き返し再び6位となります。まだピットに入っていなかったマシンがピットインを行ったため、37周目に4位へ。吉田選手のペースは速く、先行する#4 AMGとの差を徐々に詰めていきますが、コース上で複数のアクシデントが発生。FCY(フルコースイエロー、全車60km制限)が立て続けに導入され、良い流れを絶たれてしまいます。それでも吉田選手は2回目のFCY解除直後の45周目に#4 AMGをパス。3位に上がると、さらに優勝争いの2台に追いつき、三つ巴の接近戦に。残り周回は8周。先行する#11 GT-Rに揺さぶりをかける吉田選手ですが、直線スピードの差はいかんともしがたく、横に並ぶことができません。吉田選手はわずか0.243秒差の3位でチェッカー。優勝こそ達成できませんでしたが、着実にポイントを上積みし、チームランキングはトップと5ポイント差の5位に。今後につながる内容となりました。

決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット

Green Brave GR スーブラ GT
(吉田広樹/川合孝汰)

決勝：3位

(58周、1時間54分07秒226)

予選：4位

(Q2：1分48秒254)

GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	muta Racing Lotus MC (ロータス エヴォーラ MC)	58
2位	GAINER TANAX GT-R (日産 GT-R NISMO GT3)	58
3位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT (トヨタ GR スーブラ GT)	58
4位	たかのこの湯 GR Supra GT (トヨタ GR スーブラ GT)	58
5位	グッドスマイル初音ミク AMG (メルセデス AMG)	58
6位	HOPPY Porsche (ポルシェ 911 GT3 R)	58

天候：晴 路面：ドライ ※トップ6まで(出走29台)



DRIVERS VOICE

吉田広樹選手



(予選後) 予選後：グリップ感があり、朝より走りやすくなりました。一歩ずつ前に進んでいると思います。自分たちはポールを狙う大勝負をしているのではなく、明日のレースにつながる位置からスタートできればいいので、動きのわかる、自分のセッティングで走りました。予選でこの位置にこれたのは、他のチームより暑いコンディションに合わせきれているからだと思います。

(決勝後) パッケージやタイヤの良さはあったので、あとはドライバーが頑張らないといけないところでしたが、ちょっと足りなかったですね。GT500に抜かれるタイミングなど、使えるものは何でも使っていたのですが、残念です。次の鈴鹿を含めて、重くなくてもチャンピオン争いから落ちないように頑張れば、ウェイトが半分になるもてぎと、相性の良い富士で終わるので、まだまだチャンスはあると思っています。

川合孝汰選手



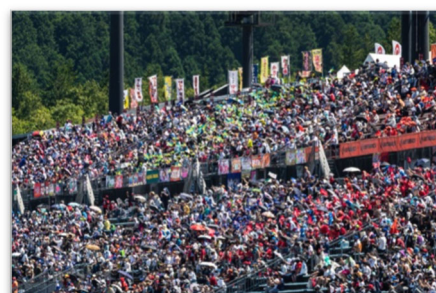
(予選後) 練習段階から吉田さんと近藤チーフエンジニアが、クルマのバランスを見てくれました。FCY テストの走行中にチェックしてもらった方向性がすごく良くて、若干味付けはしたのですが、変えたかった症状がだいぶマイルドになり、タイムを出しやすかったです。追いついてなければもう1周いきたかったのですが、あれ以上のタイムが出るか怪しかったので、タイヤを残すという意味でも一発で決められて良かったです。

(決勝後) クルマの水温とブレーキの温度を下げたいので、なるべく前のクルマにつかないようにラインを変えて走っていました。前がいなくなるとペースは上がるのですが、スリップは使えないし、FIA-GT3についていくのはなかなか厳しい。吉田さんにいい状態でクルマを渡せるようにセーブしていたのですが、気温が高く、タイヤが思ったより厳しかったですね。後半勝負になった時にタイヤが残っていないと不利なので、交換しようとチームに伝えました。



チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	65	K2 R&D LEON RACING	34
2位	60	LM corsa	32
3位	56	KONDO RACING	31
4位	11	GAINER	31
5位	52	埼玉トヨペット Green Brave	29
6位	2	muta Racing INGING	27
トップ6まで			



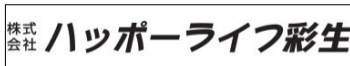
PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



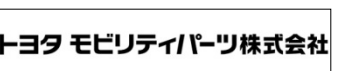
株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



株式会社ハッピーライフ彩生



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



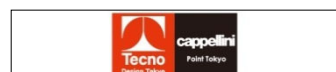
トヨタモビリティパーツ株式会社



埼群スリーボンド株式会社



株式会社ドーム



株式会社 Team Iwakiri Japan



株式会社デイトナ・インターナショナル

※50 音順

【次戦予告】 第3戦 (当初の5月から延期のため) 8月21日~22日 鈴鹿サーキット (三重県)